

事業者向け 令和元年度放課後課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			設置基準の約3倍のスペースを確保しております。随時、整理整頓に努め、利用児童が伸び伸びとした活動ができるよう努めております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか		○		社内外研修へ積極的に参加をしております。参加者は、社内研修において、外部研修で学んだ知識を共有しております。また、すきっぷでは、職員の専門性向上に向けた一環として、国家資格取得(保育士・社会福祉士・精神保健福祉士等)を推進しております。客観的理解とエビデンスに基づいた質の高い支援を継続していくために、今後も学びの機会を増やして参ります。
適切な支援の 提供	3	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	○			すきっぷでは、利用児童の発達特性を客観的に分析し、客観的な理解に基づいて指導方法を研究し、実践しております。放課後等デイサービス計画も、ご利用者様・利用児童のニーズを丁寧に伺い、客観的な分析に基づいて、計画をご提案させていただいております。
	4	運動プログラムが固定化しないようバリエーションを付けた工夫がなされているか	○			学校体育の年間計画を把握した上で、年間指導計画を策定しております。また、週ごとに指導案を作成し、模擬授業で支援の質の向上を図っております。指導は細分化し、スモールステップで取り組めるよう工夫をしております。
保護者への 説明等	5	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			ご体験時またはご契約時に、代表又は児童発達支援管理責任者よりプログラムの内容と期待される効果についてご説明させていただいております。また、費用につきましては、契約書に記載すると同時に児童発達支援管理責任者又は管理者よりご説明させていただいております。
	6	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		○		令和元年度は、職員のコミュニケーションスキル向上に向けた研修(DiSC)を実施いたしました。ご利用者様と共通理解を深めるために、連絡帳・お電話・LINEなどの手段を使い、すきっぷでの様子や課題などを必要に応じてお伝えさせていただきます。また、ご家庭や学校での様子や課題などを積極的に伺いし、ご利用者様との連携強化に努めて参ります。
	7	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		○		ご利用者様に対して、質の高いヒヤリングや助言ができるよう、専門性の向上に取り組んで参ります。
	8	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご利用者様からの苦情に対しては、特に迅速に対応しております。また、苦情に至る原因を分析し、対応を検討し、改善を行った上で、再度、ご報告させていただいております。また、重大なインシデント、事故につきましては、ご利用者様にご報告するとともに、川口市障害福祉課へ文書にて(第一報)報告いたします。改善した上で、(第二報)再度、報告いたします。ご利用者様には、その都度、経緯をご説明させていただきます。
	9	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			ご利用者様との意思疎通、情報伝達には、連絡帳・LINE・お電話・送迎時のフィードバックと、多くの手段を利用しております。利用児童との意思疎通や情報伝達は、特性に配慮した上で、話しやすい環境を用意して行うよう心掛けております。
	10	個人情報に十分注意しているか	○			ご利用者様、利用児童の個人情報は、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。また、全職員は、個人情報保護の誓約書を提出し、在職中はもちろん、退職後も漏洩しないことを誓約しております。今後も、個人情報を厳重に管理いたします。
	11	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		○		年2回の避難訓練を実施しております。また、職員は消防通報訓練を行っております。来年度は、全利用児童が参加できる環境整備に努めて参ります。
満足度	12	子どもの社会性*2とコミュニケーション力*3は向上したか		○		すきっぷでは、将来の自立に向けた社会性とコミュニケーション能力の向上に向けた支援を目標に取り組んでおります。これからも、より質の高い支援と指導技術の向上に取り組んで参ります。
	13	子どもの運動能力・協応動作*4は向上したか		○		すきっぷでは、運動の時間を通じて、運動神経の向上とコミュニケーション能力の向上に向けた支援に取り組んでおります。また、複数の器官を同時協調的に動かす協応動作の改善・向上に取り組んでおります。今後も、より質の高い支援を通じて取り組んで参ります。
	14	子どもの視覚認知機能*5は向上・改善したか		○		すきっぷでは、眼球運動・両眼視・調節機能などの入力機能と、脳の中で視覚情報を認知・記憶・イメージする処理機能、そして眼と体を協調させる出力機能視覚認知機能の向上に向けたプログラムを行っております。今後も、質の高いプログラムの提供を通じて、利用児童の機能改善・向上に努めて参ります。
	15	子どもは通所を楽しみにしているか		○		すきっぷでは、行動の前後を分析することでその行動の目的を明らかにし、前後の環境を操作して問題行動を解消する応用行動分析を用いて、利用児童の発達を促します。正しい行動を評価し、増やし、不適切行動は正しい行動へと置き換えて行く指導に取り組んでおります。正しい行動が評価されることにより、健全な教室づくりに努めます。また、課題はスモールステップで指導し、できたという体験を増やすことでチャレンジしようという姿勢を養います。進級、進学、就職、自立と続く社会生活の中で生きる力を養います。そして、生きることの楽しさを実感できるよう、職員一同、全力で支援して参ります。
	16	事業所の支援に満足しているか		○		利用児童の成長という「結果」について、より満足していただけるよう、職員一同、全力で取り組んで参ります。